

は
つ
た
て



炎症性腸疾患の内科的治療について

I
B
D

特集／医療アクション！



2013 秋

IBD

白木学医師

炎症性腸疾患の
内科的治療について

はじめに

炎症性腸疾患は慢性的に消化管の粘膜がむくんだり、あれたり、潰瘍ができたりする原因不明の病気で潰瘍性大腸炎とクローン病の2種類があります。

潰瘍性大腸炎

主として大腸に病気が現れ、良くなったり、悪くなったりを繰り返します。良い状態をずっと長持ちさせることが治療の目標となります。

治療前の準備

潰瘍性大腸炎と診断したら腸のどの部分に病気が現れているかを調べます。同時に便回数、排便の量、体温、貧血の有無などから重症度を調べます(表1)。

潰瘍性大腸炎の内科的治療

良い状態に導く治療を寛解導入療法といいますが、良い状態を持続させる治療方法を寛解維持療法といいます。

特集 医療アクション

2~4P

IBD ~炎症性腸疾患の内科的治療について~

院内外のホットニュース

5・6P

◆**教えてコーナー**

健康にまつわる選りすぐりの知恵。

7・8P

◆**ホッ得!** 今回のお題【ダイエット】

理念/方針/患者権利

◆**私が伝えたい!**はづの魅力

9・10P

◆**情報to (通)**

●ご意見に答えるコーナー

11P

◆**自遊自在**〈秋の定番!「〇〇の秋」〉

12P

◆**部署紹介**「摂食嚥下リハビリ・口腔ケアチーム」

13P

◆**連携室だより**

◆**病診連携登録医**〈鳥井医院〉

12P

◆**職員が紹介する**「お・す・そ・わ・けスポット」

15P

管理栄養士が考える旬の健康食

16P

◆**おすすめ!!**「季節を食す」

◆**外来診療担当表**

17・18P

潰瘍性大腸炎の重症度

表1

	重症	中等症	軽症
排便回数	1日6回以上	重症と軽症の間	1日4回以下
血便	多い		殆どなし
体温	37.5℃以上		平熱
脈拍	90拍/分以上		正常
貧血(血液検査)	ヘモグロビン10g/dL以下		正常
赤沈(血液検査)	30mm/時間異常		正常

以上のうち排便回数が多くて血便も多く、熱が出るか脈が早い患者さんの中で、それぞれの項目を4つ以上満たすものが重症、全部軽症に当てはまる患者さんが軽症です。そのほか重症の中でも特に症状が悪い劇症と分類されることもあります。

直腸だけに病変がある場合

ペンタサ®錠、アサコール錠®、サラゾピリン®錠などの内服薬または、ペンタサ®注腸薬・坐薬やサラゾピリン®坐薬を使いますが、改善しない場合はステロイドの注腸薬や坐薬を使うこともあります。それでも改善しない場合は直腸のほかにも病変がある場合の治療を行います。

直腸のほかにも病変がある場合

● 軽症・中等症

重症度が軽症・中等症の場合はペンタサ®、アサコール®またはサラゾピリン®で寛解導入療法を行います。改善しない場合はステロイドの内服薬を用いることがあります。また中等症の場合は血球成分除去療法を行うこともあります(図1)。これらの

図1 血球成分除去療法



治療で改善しなければ

重症に対する治療を行います。

● 重症

入院して、ステロイドの点滴をします。これで1〜2週間以内に改善しない場合は手術を行うか、ステロイドが効かない場合の強力な治療を行うか検討します。



▲ 特殊血液浄化室

● ステロイドが効かない場合の治療

1 免疫調節剤

プログラフ®という免疫を強く抑える内服薬を用います。大体3〜5日程度で効果を発揮します。

2 生物学的製剤

炎症を直接引き起こすと考えられているTNFというたんぱく質の働きを抑えます。またTNFを作る細胞も壊します。これにより炎症を沈静化させます。レミケード®とヒュミフ®という2種類の注射薬があります。

寛解維持療法

ステロイドを用いた場合はステロイドを減

● 重症以上

入院して治療します。栄養療法は経静脈的完全栄養療法を行い、併せてステロイドの点滴を行うことがあります。改善しない場合は生物学的製剤を用います。

そのほか大腸に病変がある場合、血球成分除去療法により良くなる場合があると考えられています。また人によっては胃薬を使うことがあります。

寛解維持療法

寛解維持療法でも栄養療法が有効と考えられています。ステロイドを用いて寛解導入療法を行った場合は減量・中止していきま。ステロイドを減らすと必ず返す時は免疫調節薬や生物学的製剤を用いることがあります。生物学的製剤で寛解導入した場合は生物学的製剤を継続的に使って寛解維持療法を行います。

おわりに

炎症性腸疾患の内科的治療法は最近大きく変わってきました。疑問があれば、ぜひ当院へお問い合わせください。

クローン病

口・食道・胃・小腸・大腸・肛門のどこかに独特の潰瘍ができる病気です。良くなったり、悪くなったりを繰り返すため、良い状態をずっと長持ちさせることが治療の目標となります。

治療前の準備

クローン病と診断したら腸のどの部分がやられているかを調べます。また食道、胃、腸に狭いところがないかどうか、膿がたまっていないかどうか、腸に穴が開いてはかのか、やほかの臓器とつながっていないかどうかを調べます。同時に採血や便の回数、腹痛の程度などの症状から重症度を調べます。

クローン病の内科的治療

クローン病の治療にも寛解導入療法と寛解維持療法があります。

寛解導入療法

クローン病の寛解導入療法は、成分栄養療法と薬物療法を組み合わせて行います。成分栄養療法はエレントール®を用いる経腸栄養療法と絶食の上、点滴を行う経静脈的完全栄養療法があります。ふつうは経腸栄養療法を行います。重症の場合や腸が狭い場合など、状態によっては経静脈的完全栄養療法を行うことがあります。

薬物療法はペンタサ®錠、サラゾピリン®錠などの内服で行いますが、そのほか症状や炎症の程度によってステロイドや免疫調節薬、生物学的製剤を用います。その組み合わせは以下の通りです。

● 軽症・中等症

ペンタサ®錠、またはサラゾピリン®錠を用います。栄養療法も併せて行います。

● 中等症・重症

栄養療法ほかにステロイドの内服薬を用います。ステロイドを用いず、入院して強力に栄養療法を行うこともあります。これらの治療に反応しない場合は生物学的製剤を使って治療します。



▲ 調剤風景 ▲

▲ パンフレット



▲ 化学療法室



化学療法室のご案内

当院のがん化学療法とは

当院の化学療法室ではがん化学療法（抗がん剤）をはじめ、自己免疫疾患に対する生物学的製剤やホルモン製剤の投与を行っています。がん化学療法は主に消化器がん、乳がん、肺がんの治療を行っています。

また自己免疫疾患については、クローン病、潰瘍性大腸炎の患者さんにはレミケードを、関節リウマチの患者さんにはレミケード、アクテムラ、オレンシアを投与しております。

治療の多様化、複雑化に対して、患者さんへの投薬は、外来や薬剤部と協力し二重三重のチェックを行っています。『安全・確実・安楽な外来化学療法を提供する』という目標の下に化学療法を実施しています。

化学療法室の設備

患者さんに少しでもリラックスしながら治療を受けていただけるように、雑誌、TVや電動ベッドの設置、またプライバシー保護の面から各ベッドをカーテンで仕切っております。電動ベッド7床、リクライニングソファ1台の計8床となっております。かつら、帽子のパンフレットやサンプルも展示しております。

実施件数が年々増加!



年度別
化学療法室
実施件数



化学療法室Q&A

Q 治療は入院して行くの?

A 入院して行う場合もありますが、基本的には通院で治療を受けていただけます。当日は受付、採血、各科で診察の後に化学療法室で治療を受けていただけます。

Q 治療時間が長い時は食事や水分をとることはできるの?

A 基本的に治療中でも持ち込んで飲食していただいても構いません。ただし、お問い合わせのものはご遠慮願います。

Q どんな副作用があるの?

A 治療内容により副作用症状は様々です。治療内容が決まり次第、医師、薬剤師、看護師がパンフレットを用いて対処方法を含めた説明をさせていただきます。いつでもお気軽にご相談ください。

Q 治療中、付き添いはできるの?

A 発熱や咳がなければ付き添いできます。気軽にスタッフに声をおかけください。



ホッ!得

今回のお題

「食欲の秋」を少しだけ我慢。

「ダイエット」。

肥満ってどんな状態？

肥満とは、脂肪が一定以上に多くなつた状態を指し、これを判断する基準のひとつに「体格指数(BMI)」というものがあります。下記の計算式で求められ、25以上であれば肥満と判定されます(ただし、スポーツ選手のように筋肉や骨の割合が多い場合はBMIが25を超えても肥満ではありません)。



ダイエットとは？

「ダイエットしなくちゃ!」年齢を問わずよく聞かれる言葉です。外来語の一種としてすっかり定着している「ダイエット」ですが、本来の意味とは少し違って受け止められていることが多いようです。英語の「Diet」を日本語訳すると、「食物、食事療法」となります。ダイエットとは本来、「健康的な体型になるための食事による治療」と言う意味なのです。従って、「ダイエットする」ならば、やみくもに体重を減らそうとするのではなく、肥満を解消すること、健康的な体型を目指すことを目標にしましょう。



肥満を調べる計算式

$$BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$$



肥満のタイプ

肥満はいけない？

幅が良い人は「優しそう」「余裕がある」「おおらか」といった良いイメージを持たれることもありますが、痩せすぎは栄養不良の心配があります。体内でホルモンを合成したり、クッションのように衝撃から骨や内臓を守るためにも、ある程度の脂肪は必要です。しかし、BMIが25以上の肥満、中でも「リンゴ型肥満」と言われる体型には要注意。上半身や脚は細いのにお腹まわりが大ききリンゴのような体型の人は、内臓の周りに脂肪が蓄積しているため、下半身に脂肪がついた「洋ナシ型肥満」の人よりも高血圧や高脂血症、糖尿病といった生活習慣病にかかりやすいです。



正しいダイエットを知ろう

正しいダイエットとは？

ダイエットで大切なのは、筋肉量は減らさず、不要な脂肪を減らすことです。食事を抜いたり、単一の食品ばかり食べるダイエットは、筋肉が落ちやすいため、一時的に体重が減っても後でリバウンドしやすい間違った方法です。慣れない体で急にきつい運動をするのも膝や腰を痛めるおそれがあるので注意してください。下記のポイントを参考に、無理なく標準体重(BMIが22となる体重。最も生活習慣病になりにくいとされている)を目指しましょう。

ポイント

- ① 長く続けられる方法で
- ② 食事だけ・運動だけではなく、両方を
- ③ 習慣として生活の中に取り入れる
- ④ まずは「今の体重の5%分」を減量目安に
- ⑤ ストレスにならない程度に頑張る



病院理念

良質で安全、患者中心のゆとりのある医療・福祉の提供と保険予防活動による健康増進への貢献

基本方針

1. 職員は、奉仕の精神に徹し、自らを厳しく律し、良質かつ安全な医療福祉の提供のため、研鑽を積みまします。
2. 科学的な根拠に基づいた保健予防活動・オーダーメイド医療の提供に努めます。
3. 十分な情報提供と説明に基づく理解・同意を最重視し、自己決定権を尊重します。
4. 療養・職場環境の整備に努め、良好な病診・地域連携、職員間のチームワークを大切にします。
5. 模範的な健康保険診療を実施します。

患者さんの権利

1. 誰もが、一人の人間として、基本的人権が尊重され、平等に、良質な医療を受ける権利があります。(基本的人権と公平な医療)
2. 診療上得られた個人情報の秘密は守られます。(プライバシーの保護)
3. 受ける治療や検査に必要な情報は、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで説明を受け、かつ自らの意思で、病院・治療・検査法などを選択する権利があります。(知る権利と自己決定権)
4. 診療録は、患者さんと病院の共有財産であり、治療内容、費用明細などを閲覧することができます。(診療録の共有)

私が伝えたい はづの魅力

不安な思いを抱いた患者さんにとって、まずは安心して治療を受けていただくことが大切ではないかと思えます。地域に根ざした当院は、そんな患者さん、お一人おひとりに対し、親しみあふれた丁寧な対応やサビダに努めていることが大きな魅力だと思います。

こうした対応に、患者さんからは多くの感謝のお言葉をいただいております。また、来年4月からは「地域医療への貢献」という役割を明確にした組織に当院が生まれ変わるため、更にその魅力に磨きをかけていきたいと考えています。

患者さんや仲間たちから仕事を通して多くのことを学ばせていただくことに感謝し、また、皆さんに少しでも喜んでいただけるよう努力していく中で、たくさんの「ありがとう」の言葉を交わしていけたら幸いです。

好きな言葉 「ありがとう」
事務局長 道家 年郎



I love yokkaichi.

私は理学療法士として2年目を迎えました。今回は、当院のリハビリテーション部の強みについてお話しします。当院はより良い医療を提供するため週に1度のケアカンファレンスや総回診を医師・看護師・療法士が積極的に行っていきます。少しでも患者さんへ質の高い医療を提供するため努力を惜しまないスタッフとの仕事にやりがいを感じています。今後も、「チーム医療」で患者さんに質の高い医療を提供できるように日々精進していきます。

リハビリテーション部 理学療法士
山口 大貴

好きな言葉 「元氣」



5病棟看護師 マリア・カシミラ

好きな言葉 「Domy best」



経済連携協定の看護師候補者としてインドネシアより来日し3年が経ちました。来日して半年は主に日本語の勉強をしました。その後四日市社会保険病院に派遣されました。まずは、日本の看護師国家試験に向けて勉強の日々でしたが、昨年度の国家試験に合格し、現在は、5病棟の一スタッフとして夜勤にも入っています。優しい環境と良いチームワークで仕事ができるので毎日楽しく働いています。日本語はもとより専門用語を覚えなければならず辛いことも多いですが、患者さんの笑顔に助けられながら頑張っています。これからも良い経験を作っていけるようにベストを尽くしていこうと思っています。どうぞよろしく願います。

私は健康管理センターで健診車に乗り、おもに三重県全域の会社へ訪問し、健診させていただいております。訪問先では、当日の受付や進捗状況の確認などをを行い、いつもスムーズに健診を受けていただけるよう、医師・看護師・放射線技師・検査技師などスタッフ一丸となつて取り組んでいます。当院に勤務して約5年が経ちます。日々勉強する事ばかりですが、これからも常に前向きな気持ちで、より良い健診を皆さんにご提供できるよう努めて参ります。

健康管理センター 業務課 大橋 紀彦

好きな言葉 「常に前向きに」



外科外来看護師 高野 哲也

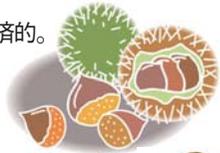
好きな言葉 「温故知新」



私は主に化学療法室で勤務しています。がん化学療法とはいわゆる「抗がん剤治療」のことです。私が勤務している化学療法室には毎日「がん」と診断された方がたくさん見えます。その方たちは様ざまな悩みをかかえています。私はその思いを聞き少しでも不安、悩みを減らせるような看護をしたい、できることは小さいかもしれませんが患者さんの気持ちに寄り添って一緒に前を向いていきたいと思っています。化学療法室では病気のことや、それに付随するプライベートでの悩み事など何でも気軽に話せる空間作りを目指しています。

食欲の秋

旬の食材は、おいしく、栄養価も高い。なおかつ経済的。おすすめの食材をご紹介します。



● サンマ

安くて美味しいと好まれるこのサンマは、血液をサラサラにするEPAや脳の働きを活発にするDHAを含んでいます。

● さつまい

食物繊維が多く含まれています。便秘の解消・血液中のコレステロールを低下させる働きがあります。

● 栗

ビタミンB1、ビタミンCを多く含んでいます。栗に含まれるビタミンCは熱に強く、加熱しても損失が少ないのが特徴。免疫力を高め、美肌効果があります。



自遊自在

秋の定番!『〇〇の秋』

暑さも和らぎ、過ごしやすい季節がやってきました。秋と言えば「食欲の秋」「スポーツの秋」など。「〇〇の秋」にちなんだ、秋の楽しみ方をご紹介します。

スポーツの秋



運動会なども涼しくなったこの季節に開催するところが多いですね。テニスや屋内水泳なんかもいいですが、しっかりとした運動までは…という人にもお勧めなのがウォーキングやサイクリング。健康を意識して、自宅で簡単にできるストレッチを習慣づけてもいいですね。

読書の秋



夏から秋にかけて日暮れが早まり夜が長く感じる(秋の夜長)その時間が、じっくりと本と向き合う時間に適しています。小説をゆっくりと読んだり、絵本や漫画で笑って気分をリフレッシュしてみても?ちなみに笑うことは、免疫力UPや血行促進、ストレスの緩和になるなど、体によい効果がたくさんあります。

芸術の秋



涼しい気候で、感受性が高まり物事に対して集中するのに適しています。この時期に美術館めぐりや映画・音楽鑑賞はいかがでしょう。最近ではショッピングモールなどでのアート工芸体験(陶芸やフラワーアレンジメント体験など)も開催しています。また時間を見つけて俳句や川柳を作ってみるのもいいですね。

あなたにピッタリの秋の過ごし方は見つかりましたか。皆さんも気持ちの良いこの季節を充実させ、楽しく過ごしましょう。

情報to通



この度、初めての入院と手術を経験して、医師・看護師・その他いろいろな方のお世話になり、ありがとうございます。特に、看護師さんには昼夜を問わずお世話になりました。入院患者にすれば、入院や病気ほど不安なものはありません。そんな中、温かく優しく接していただいて本当に助かっています。本当にありがとうございます。【60代男性・入院患者】

健診内容により、ソックスを脱ぐ必要が無い場合もあるので、受付で説明していただければありがたい。衛生上からも良いと思う。

【70代男性・受健者】

病院より 回答

温かいお言葉ありがとうございます。今後も患者さんに、「納得」「安心」「満足」していただけるサービスを心がけてまいりますのでよろしくお願いたします。

→意見ありがとうございます。不快な思いをお掛けしまして申し訳ございませんでした。

健診のため履いていただくスリッパは、白の清潔感がある物にすべて替えさせていただきます。また、受健者さまが使用されたスリッパは、毎回、洗濯をします。ソックスについては、健診の内容によって異なりますので、受付時にスタッフにお尋ねください。よろしくお願いたします。



上記のスリッパが新しいものです



病診連携登録医

地域の病院・クリニックをご紹介します

鳥井医院

内視鏡を導入し検査の充実をはかり、痔核に対する日帰り治療なども導入しています。



院長 鳥井 孝宏

診療科目

内科

外科

胃腸科

皮膚科

肛門科

鳥井医院は小杉町で開業しており、小杉町を始め小杉新町、大谷台、みゆきヶ丘、西阿倉川、垂坂町など周辺一帯の地域医療に携わって参りました。診療科は内科、外科を中心としていますが、地域のかかりつけ医として総合的な診療を心がけています。通常のかかりつけ医としての診療が多いですが、診察した上で専門的な治療が必要な場合は社会保険病院をはじめ専門病院に紹介させていただくといったこともしています。

また、病気やその治療などについての質問などいろいろな医療相談にも可能な限り応じています。



最近では内視鏡を導入し検査の充実をはかり、痔核に対する日帰り治療なども導入し遠方よりの患者さんも徐々に増えています。今後も地域のかかりつけ医として、または専門病院へ受診する足がかりとして当院を利用いただければと思います。

診療時間・曜日	月	火	水	木	金	土	日
AM9:00~AM12:00	●	●	●	△	●	●	△
PM3:00~PM6:00	●	●	●	△	●	△	△

休診日/木曜、土曜午後、日曜、祝日

TEL 059-331-8081

〒512-0902

三重県四日市市小杉町1282



部署紹介

摂食嚥下リハビリ・口腔ケアチーム

『患者さんが安全においしく食事を食べられること。感染や心筋梗塞などの病気の予防につながる口腔ケア』をモットーに活動しています。メンバーは現在、医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・調理師です。

摂食嚥下リハビリ・肺理学療法や口腔ケアを行っています。誤嚥性肺炎の患者さんへの支援を通して、少しでも入院期間が短くなるよう、家族の皆さんと協力していきたいです。より安全でおいしい嚥下食の改良も行って



います。また重症患者さんや周術期患者さんへの口

腔ケアの啓蒙を行っていきたくと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

連携室便り

糖尿病教室をご存知ですか？

当院では糖尿病センターで毎月第1水曜日14時〜15時半で糖尿病基礎教室を開催しています。糖尿病を専門に勉強した看護師が「糖尿病ってどんな病気!?」「糖尿病と上手付き合う方法とは」と題し、体験型の楽しい教室を開いています。参加費は無料です。ご興味のある方は、平日10時〜14時の間に当院代表電話059-331-2000にお電話いただき、「糖尿病教室の申込みをしたい」とお伝えください。糖尿病センターにお電話をおつきなごし、ご予約を取らせていただきます。皆さまのご参加を待ちしております。



連携室よりみなさんへ

お・す・そ・わ・け・ス・ポ・ツ

靴を脱いで上がるスタイルの手作りおうちカフェ。ひっそり佇む隠れ家のようなカフェで、木に包まれた雰囲気がとても落ち着きます。オーナーのお母さまが長年営んでいた、お好み焼きの店『赤い実』を全て手作りでお店を改装され、『akaimi cafe』として平成25年4月に開業されました。お店の中のインテリアも素敵で可愛らしく、心が弾みます。ランチは週替わりの1日各10食限定ランチがお勧めです。もちろん、料理も全て手作りで身体に優しく、オーナーのこだわりが詰まっています！他にも、カフェやスイーツが楽しめます。日常を忘れて寛げる雰囲気、あなたも癒されるはず…。

Osu-so-wake Spot
「akaimi cafe」



ランチ限定
10食



心をゆったり
させてくれます



インテリアも
おしゃれでうっとり



アカイミ カフェ
「akaimi cafe」

- 所在地 四日市市西阿倉川211-1
- TEL 059-334-3662
- 営業時間 9:00~17:00 (オーダーストップ 16:00)
- 定休日 日曜、月曜、火曜

おすすめ!!

栄養士が考える旬の健康食

「季節を食す」



129kcal

222kcal

きのこご飯と月見汁

※表示カロリーは1人分

（きのこご飯と月見汁
レシピ）

★ポイント★

秋の食材といえば「きのこ」です。きのこは低カロリーで食物繊維たっぷりの健康食材。きのこを混ぜると噛みごたえが出るので、普段と同じ茶碗1杯のご飯でも満腹感アップ、満足感もアップします。横には白玉の汁物を付けました。満月のように丸い白玉でお月見の雰囲気も盛り上げますね。目でも舌でも楽しめる秋の2品。お試しくださいと嬉しいです☆



月見汁

<材料>

- 白玉粉20g
- 絹ごし豆腐20g (1/16丁)
- ゆで卵 (黄身) 1/4個分
- 白味噌 小さじ1/2
- 栗 (甘露煮) 1/2個
- だし汁 120cc
- 薄口しょうゆ 小さじ1/3
- 塩 少々
- みつば 1本

<作り方>

- ①Bを合わせてすまし汁を作っておく。
- ②ポウルに白玉粉と豆腐を入れ、耳たぶくらいの硬さになるまで手でよく練る。
- ③別のポウルで卵と白味噌を混ぜて餡を作り、栗を包む。
- ④②の生地で③を包み、たっぷりの熱湯で茹でる。
- ⑤浮き上がってきたら、ザルにあげ流水で冷ます。
- ⑥汁椀に盛り、すまし汁を静かに注いで、みつばを添える。

きのこご飯

<材料>

- 生しいたけ 1個
- エリンギ 1本
- ぶなしめじ ... 1/4パック
- しょうゆ 小さじ1
- みりん 小さじ1/4
- 温かいご飯 120g (茶碗軽く1杯)

<作り方>

- ①オーブンを180℃に予熱する。
- ②しいたけとエリンギは薄切りにし、しめじは手で房を分ける。
- ③アルミホイルを敷いた天板にきのこを並べ、焼く(オープン180℃で約10分)。
- ④軽く焼き色がついたら調味料Aをあえ、ご飯に混ぜる。

栄養部 管理栄養士 川瀬 千絵

●外来診療担当表

2013年9月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	初診	井本 一郎 消化器科・一般	杉本 龍亮 消化器科・一般	小寺 仁	大原 和人	渡辺 省三 消化器科・一般
		浦和 昌史	三宅 真人	岩佐 元雄 消化器科・一般		水谷 聡
消化器内科	初診	★中島 滋人	★中川 直樹	★中尾 一之	渡辺 省三	★白木 学
	再診	★中川 直樹	★中尾 一之	副院長 木村 光政	★中島 滋人	
		大原 和人	渡辺 省三	渡辺 省三	★中川 直樹	
			★白木 学			
			竹井 謙之 予約			
循環器科	初診	★川村 正樹	★山中 崇	◆角田 健太郎	★川村 正樹	★山中 崇
	再診	★川村 正樹 杉浦 武 PM 再診予約	★山中 崇 杉浦 武 PM 再診予約	★川村 正樹 ペースメーカー 外来	★川村 正樹 杉浦 武 PM 再診予約	◆角田 健太郎 ペースメーカー 外来
リウマチ科 (予約)		★佐藤 良子 再診予約 水谷 聡 PM 再診予約		★佐藤 良子 PM 再診予約	★佐藤 良子 予約	★佐藤 良子 再診予約
呼吸器科	初診		小林 哲 10:30まで 診察受付		本多 豊大 10:30から 診察開始	
	再診		本多 豊大 10:30から 診察開始		藤原 研太郎 PM SAS	
腎・透析科				★水谷 安秀 再診予約	★水谷 安秀 第1・第3 再診予約 三宅 真人	小寺 仁
糖尿病センター (予約)		馬嶋 知樹 糖尿病	住田 安弘 AM 糖尿病	安間 太郎 AM 糖尿病	三好 美穂 AM 糖尿病	馬嶋 知樹 糖尿病
		石川 貴大 AM 糖尿病	三好 美穂 糖尿病	島地 泰敏 甲状腺	島地 泰敏 甲状腺	島地 泰敏 甲状腺
			応援医師 糖尿病	馬嶋 知樹 AM 糖尿病		
				近藤 正樹 AM 糖尿病		
神経内科		橘 径 PM 予約		田村 麻子 PM 予約		
心の診療科						岡野 禎治 PM 予約

診療科	月	火	水	木	金
外科 大腸肛門病 (IBD) センター	副院長 梅枝 覚 14:00~予約	院長 松本 好市 予約	★野地 みどり	副院長 梅枝 覚 予約	★野地 みどり
	★北川 達士 AM 初診 14:00~乳腺予約	★北川 達士	★石井 雅昭	★北川 達士	★山本 隆行
	★野地 みどり 再診予約	馬場 卓也	★中山 茂樹	★山本 隆行 午後	★湯澤 浩之
	★山本 隆行	◆肥満 智紀		◆鳥井 孝宏	★石井 雅昭
	★中山 茂樹	副院長 梅枝 覚 予約		◆肥満 智紀	馬場 卓也
	★湯澤 浩之			★野地 みどり PM検査	
	◆肥満 智紀				
呼吸器外科			王 志明		
ペインクリニック			坂倉 幸子 9:30~ 予約	小西 邦彦 17:00~ 予約	
小児科	◆町田 祐子	副院長 渥美 伸一郎	◆町田 祐子	副院長 渥美 伸一郎	◆町田 祐子
	乳幼児健診 慢性疾患外来 (町田) 予約	予防接種 予約	慢性疾患外来 (渥美) 予約	慢性疾患外来 (渥美) 予約	慢性疾患外来 (町田) 予約
整形外科	★森下 浩一郎 予約	★新谷 健	★森下 浩一郎 予約	担 当 医	★森下 浩一郎 予約
	山田 淳一	山田 淳一	★新谷 健	※木曜日は OPEの 都合で 外来診察医師 が変わります。	山田 淳一
		森下 浩一郎 腰痛外来 予約 14:00~16:00	★新谷 健 山田 淳一 14:00~ ギプス外来		
産婦人科	★中 淳	米村 幸男	★中 淳	樋口 恭仁子	米村 幸男
泌尿器科	★加藤 貴裕	三木 学	★加藤 貴裕	三木 学	★加藤 貴裕
眼科	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ ~11:00	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ
			応援医師		
耳鼻科		間島 雄一 ~11:00			
皮膚科		水谷 仁 ~11:00		金森 祐太 ~11:00	
女性外来		樋口 恭仁子 婦人科			★野地 みどり 外科
					樋口 恭仁子 婦人科

は初診です ★=部長 ◆=医長

病院と地域を結ぶ

はづナビ

VOL.19

平成25年10月発行

発行：四日市社会保険病院
編集：四日市社会保険病院広報室
〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号
TEL 059-331-2000
URL <http://www.hazu-yokkaichihp.jp>
編集協力：TCK Nagoya



公共交通機関のご案内

- 近鉄阿倉川駅より西へ徒歩約8分
- 近鉄四日市駅よりタクシーで約10分
- 三重交通バス羽津山経由Jヒルズ行(病院前下車)
- 生活バス(四日市社会保険病院下車)
- 東名阪、四日市東インターから約10分

四日市社会保険病院

検索



未来が変わる。日本が変わる。

掲示板

平成26年4月から
病院名が変わります。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

「四日市羽津医療センター」



理念

地域医療、地域包括ケア連携の要として、
超高齢化社会に於ける地域住民の多様な
ニーズに応え、人々の生活を守る。



使命

- 総合医の養成、専門医と協働・連携強化により、切れ目がない地域連携構築に貢献
- 地域医療、地域包括ケアの要となる医療人の育成
- 各自治体と協働し、住民が安心して暮らせる地域包括ケア実現

編集後記

猛暑の夏もようやく終わり、清々しい季節となりました。2020年には東京オリンピックが56年ぶりに開催されることが決まりましたね。健康志向の高まりとともに、食事・運動への関心が定着してきた今日この頃。私もそろそろ運動不足解消のためにウォーキングから始めようかしら・・・などと考えています。秋は美味しいものがいっぱい!旬の食材を美味しくいただき、元気はつらつ毎を送りたいものです。